

大阪市防災会議 議事要旨

- 日 時 : 平成 24 年 7 月 31 日 (火) 10:30 ~ 11:30
場 所 : 大阪市役所 地下 1 階 第 11 会議室
出 席 者 : 別添資料参照
議 題 : 1) 大阪市地域防災計画の修正について
2) 大阪市の今後の防災対策について

議事要旨

1) 大阪市地域防災計画の修正について

事務局

- ・ 「大阪市地域防災計画修正案」について説明資料 3 資料 4 資料 6
- ・ 「大阪市地域防災計画修正案」に関するパブリックコメントの要旨の紹介 資料 5
- ・ 大阪 880 万人訓練の紹介

【ご意見】

大阪市地域振興会会長(此花区地域振興会会長)

- ・ 此花区は、地域をあげて津波浸水を想定した防災訓練を実施しているが、避難先の各施設の海拔がわかりにくい。
各施設に、その地点の海拔が一目で分かる表示板を設置してほしい。相当数設置する必要があると思われるが予算をつけて対応してほしい。

会長代理(大阪市危機管理監)

- ・ 本地域防災計画修正案にも記載していますが、今後、防災計画を区ごとに作成いたします。地域の状況に応じて、防災に関して優先すべき項目が異なるため、海拔の表示等、各区に応じた対策を区の防災計画に反映し、実行していくよう、此花区役所と連携して実施してまいりたいと考えています。

大阪市地域振興会会長(此花区地域振興会会長)

- ・ 避難訓練で、よく各学校の体育館を使用するが、これらの施設は 1m の津波が来れば全て浸水すると考えられる。どのように考えているのか。

会長代理(大阪市危機管理監)

- ・ 基本的には、浸水被害が想定されない場所を避難所として指定しています。
避難所を個々に検討し、浸水の被害が懸念される施設については 3 階、4 階等の利用や、それが不可能な場合には、近傍の耐震化された施設等が利用できるよう、施設の確保を地域の方々と相談させていただきながら検討してまいりたいと考えています。

大阪市地域振興会会長(此花区地域振興会会長)

- ・ 備蓄物資を段階的に上階へ移動しているとのことであったが、当方は全く聞いていないが、いかがでしょうか。

会長代理(大阪市危機管理監)

今後、地域の方々と連絡を密にとりながら進めてまいります。

大阪府看護協会会長

- ・ 訪問看護ステーション協議会に参加している訪問看護師を中心に、「“災害時どこにどのような要援護者が住んでいるか”の情報は自分たちが一番知っており、消防隊や自衛隊、地域の方々が援助に来られたときに提供できるものを作ろうではないか」と現在取り組んでいる。
- ・ 実際にどのような情報がほしいのかを東北地方の訪問看護ステーションの人からいただいているが、「大阪としてどういう情報があればいいのか。」、「どこにどのような発信をすればいいのか。」について、是非アドバイスをいただきたい。

会長代理(大阪市危機管理監)

- ・ 貴重なご提言ありがとうございます。
大阪市では要援護者計画を作成し、要援護者名簿は作成しているが、名簿ありきではなく、隣近所の協力を仰ぐ必要があると考えている。
- ・ 地域ごとのきめ細かな訓練を実施しているが、未だ十分とは言いがたい状況であり、今後、更に訓練を実施することで、“地域としてどのようなことが必要か”の把握に努めてまいりたい。
- ・ 区役所、消防署と連携し、自主防災組織としてこういった連携ができるかを、個人情報の取扱を考慮しつつ、ともに検討させていただきたい。

会長代理(大阪市危機管理監)

- ・ 内閣府の詳細なシミュレーション結果を踏まえて、次年度以降に大阪市地域防災計画を修正いたしますので、賜りました貴重な意見につきましては、その際に本計画に反映してまいりたいと考えております。
- ・ 大阪市地域防災計画修正につきまして原案どおり承認していただいたということで進めさせていただきます。

2) 大阪市の今後の防災対策について

会長代理(大阪市危機管理監)

- ・ 東日本大震災以降、大阪市として、はじめての防災会議ですので、東日本大震災を踏まえた課題、さまざまな経験等ございましたら、発表いただけたらありがたいと思います。

【被災者・避難者への対応について】

大阪府看護協会会長

- ・ 大阪府看護協会のメンバーが、災害救援ナースとして東日本大震災時の支援に参加し、現地に行って活動を行ったが、2～3日が精一杯であった。
- ・ 被災地側が支援を受ける際に、どのような要請を行えばいいかということが、全国の看護協会でも議題になっている。
- ・ 看護師は、看護協会に所属しているわけではなく、各施設に所属し、そこから派遣されるので、結局病院が承諾しないと出ることができない。

- ・ 大阪府は岩手県を支援しなければならないことを大阪府看護協会はこの度初めて知った。
- ・ 訪問看護ステーションは、どこにどのような要援護者がいるかの情報を発信しなければならないと認識しており、その発信の方法について、警察・消防の方たちが援助する際にどのような情報が欲しいのかアドバイスをいただきたい。

会長代理(大阪市危機管理監)

- ・ 今回に震災では、大阪市は岩手県等を支援しました。
- ・ 救援物資については公的な施設には援助が届くが、小さな避難施設には行き届かないといった状況も見受けられた。
- ・ 住民の方々がすばやく避難するためにも、避難所のありかたや、創意工夫した避難所の運営に努めて参りたいと考えておりますので、ご支援賜わるようよろしくお願いいたします。

【帰宅困難者対策について】

関西鉄道協会

- ・ 帰宅困難者対策は、関東の方が先行して検討がすすめられている。
- ・ 首都直下地震帰宅困難者等対策協議会が昨年9月より開催されている。
その中で様々な議論がなされており、今夏から今秋の報告書とりまとめに向けて議論がなされている。
これを受けて、関西鉄道協会でも帰宅困難者対策については進めていきたい。

会長代理(大阪市危機管理監)

- ・ 当然、広域的な問題なので、大阪府と大阪市が連携をとってすすめていきますが、関西鉄道協会とも十分協議させていただきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。
- ・ JR西日本様にも何か意見をいただけたらありがたいと思います。

JR西日本

- ・ 大規模な震災発生直後は、駅構内の負傷者の確認、お客様の誘導、構内放送を利用した列車の運行情報の提供に努める。
- ・ 鉄道運行业者として、可能な限り運行再開に全力を注ぎ、帰宅困難者の早期解消に努めたい。
- ・ 長時間、運行が再開できず、主要ターミナル駅に大量のお客様が滞留する場合の対応が必要と考えている。

会長代理(大阪市危機管理監)

- ・ 今後ともよろしくお願いいたします。
- ・ 交通局さん何かございましたらよろしくお願いいたします。

交通局

- ・ JR西日本さんと同様、運行再開に全力を注ぎたい。
大規模災害発生時において、基本的に地下施設は耐震補強工事を一定実施しているものの、施設の損傷が考えられる。また一定期間は非常用発電機で照明等は確保されているが、非常用発電機で対応できる時間は限られているので、駅施設の構外に避難してもらうことを考えている。
- ・ 備蓄に関しても、地震に伴う浸水も想定されるので、備蓄空間の確保は避けなければいけな

い点もあると考えている。

会長代理(大阪市危機管理監)

- ・ 貴重な意見を賜わりありがとうございました。
頂戴しましたご意見については、今後の防災対策に反映させてまいりたいと考えております。
- ・ 今後ともご協力をいただきたいと考えている。
- ・ 本日の議事これですべて終了いたしました。